

## 結果のまとめ

### ○墓地に対するニーズについて

今回のアンケート調査において、墓地の取得を希望する人の割合は約 10%で、90%近くの人が現在取得を希望していないということが分かりました。

取得を希望しない理由として多くの人が「先祖が取得した墓地があるため」と回答し、その所有している墓地の種類は、「個人所有地にある個人墓地」が最も多く、次いで「地域にある共同墓地」となっています。この結果から佐久市においては、過去に大規模な市営霊園を設置していないことから多くの人が個人又は共同の墓地を先祖代々から管理していることが伺えます。

一方、墓地の取得を希望すると回答した人の取得理由としては、「遺骨はないが、将来のために取得したい」と回答した人が最も多く、また、いつごろ取得したいかとの設問では、「現在探している」と答えた人の割合が 17.1%であったのに対して、「10 年以内に取得したい」が 20.7%、「20 年以内に取得したい」が 23.2%となっています。この結果から取得を希望している人の多くは、今すぐに墓地が必要というより、むしろ長期的な計画として取得を希望していることが伺えます。

また、取得したい墓地の種類は、「自治体による公営霊園」が最も多くなっていますが、これは墓地を取得するときに重視する事項の設問において、「お墓の価格、維持管理費」と回答した人が最も多いことから、比較的取得費、維持管理費ともに安価な公営霊園を希望する人が多いと考えられます。

そして、取得したい墓地の形態は、「日本の伝統的な和型の墓石が並ぶ墓地」が最も多く、次いで「西洋式の芝生墓地」、「樹木型の合葬式墓地」の順になっています。

昨今、墓地に対する価値観が多様化し、従来の個人墓地だけでなく様々な形態の墓地に対するニーズが高まっていると言われてはいますが、佐久市では「伝統的な和型の墓地」を好む人が多いことが伺えます。

### ○墓地の使用期限や合葬式墓地に対する考え方について

墓地を所有している人で、墓地に対する心配事は何かという設問では、「心配事はない」と回答した人が最も多い結果となりましたが、「承継者がいない又は今後いなくなるかもしれない」、「承継者はいるが負担をかけたくない」と回答した人も多く、墓地の承継問題について不安に思っている人が多いことが伺えます。

墓地の使用期限を定める制度については、「定めるべきではない」という否定的な意見が 36.1%という割合に対して、「取り入れても構わない」「やむを得ない」「取り入れた方がよい」という肯定的な意見は合わせて 50.7%と高い割合となっています。今後無縁化する墓地が多くなることが予想されている中で、使用期限を定めて無縁化を防止する対策について理解している人も多いが、墓地は子孫に残すべきで使用期限

を設定することに抵抗がある人も多くいることが分かります。

合葬式墓地についての設問では、「好ましくない」「考え方が理解できない」という否定的な意見は合わせて 8.4%という割合に対して、「設置すべき」、「やむを得ない」という肯定的な意見の割合が合わせて 77.0%と高くなっています。

「樹木型」合葬式墓地についての設問も同様に、「好ましくない」「考え方が理解できない」という否定的な意見は合わせて 15.8%という割合に対して、「設置すべき」、「やむを得ない」という肯定的な意見の割合が合わせて 67.6%と高くなっています。

合葬式墓地は、承継者の金銭的負担の軽減や承継者がいなくとも利用できる利点があり、加えて「樹木型」合葬式墓地は、自然志向のニーズに対応でき、周辺環境との調和等景観的に優れている利点があることから肯定的な意見が多いと考えられます。

### ○公営霊園の設置に対する考え方

市が公営霊園を計画するとしたらどのような霊園にすべきかとの設問では、「豊かな緑に囲まれ散策や憩いの場として利用できる公園機能を持った霊園」が最も多く、次いで「個々に区画されたお墓、納骨堂、合葬型のお墓など様々な形態を提供できる霊園」となっています。

また、公営霊園を設置するにあたって、市が取るべき措置として必要なものはなにかとの設問では、「自然との調和や周辺環境に配慮した外観にする」が最も多く、次いで「緑地や広場などがあり、公園のようにする」となっています。

この結果から多くの市民が自然との調和や周辺環境に配慮した緑豊かな公園のようなイメージの墓地を好む傾向がみられ、それぞれのニーズに合った墓地形態を選択することができる霊園を求めていることが伺えます。

### ○今後の墓地行政の方針

墓地については、その公共性、公益性にかんがみ、住民に対する基礎的なサービスとして需要に応じて行政が計画的に供給していくことが求められています。

今回の調査結果では、墓地の取得を希望する人の割合は約 10%であったものの、公営霊園の設置を強く求める声もありました。

現在、市内には宗教法人等が販売している霊園があり、多数の遺骨を収納できる合葬式墓地も設置されています。

市といたしましては、今後も市民の墓地に対するニーズを継続的に調査し、墓地の需要と供給のバランスを考慮しながら、公営霊園設置の必要性について慎重に検討してまいりたいと考えております。